



# 第59回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

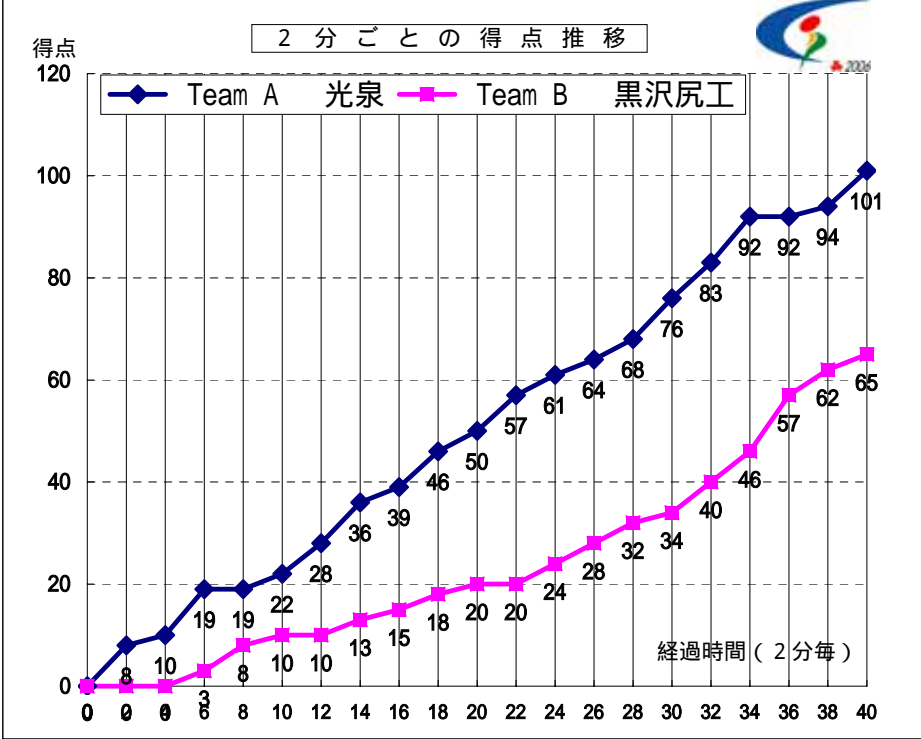
男子 1回戦

試合日 2006年8月2日  
 開始時間 9:30  
 会場 大阪府立体育会館  
 コート Aコート  
 試合順 1 試合目

Team A		Team B
光泉	101	黒沢尻工
滋賀県	( 22 - 10 ) ( 28 - 10 ) ( 26 - 14 ) ( 25 - 31 )	岩手県
	65	

Team A 光泉		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	相井 大樹		14	0	4	7	13	0		0	1	0					
5	宇野 善昭	18	0	0	7	15	4	5	1	4	6	10	2	3	0	3	35.0
6	若林 良	7	1	3	1	5	2	3	3	2	0	2	0	2	0	0	17.0
7	西村 俊彦	6	0	0	3	3	0	0	2	2	2	4	0	0	1	0	8.0
8	宇部 一允	33	0	0	16	19	1	2	2	3	4	7	0	1	1	2	31.0
9	稲田 健人	12	3	6	1	2	1	2	0	1	1	2	0	0	1	0	21.5
10	茶野 翔太	5	0	1	2	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	7.5
11	大塚 純樹	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0
12	横江 豊	4	0	2	2	10	0	1	0	3	2	5	5	1	1	3	35.0
13	長 昌志	2	0	0	0	3	2	4	1	0	0	0	0	0	0	1	5.0
14	桐谷 祥平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.5
15	植村 信明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1.0
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	0	0	0					0
合計		101	4	16	39	73	11	19	11	15	19	34	12	8	4	13	200
RATE		25.0%			53.4%			57.9%									

Team B 黒沢尻工		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	吉田 誠尚		13	0	1	4	13	5		6	2	3					
5	姉帯 亮介	4	0	0	1	1	2	2	0	1	0	1	3	2	0	0	8.5
6	石澤 将人	7	0	0	3	5	1	2	1	1	1	2	0	0	0	1	19.5
7	豊 真吾	7	1	8	2	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	17.0
8	加藤 浩二	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	2.5
9	鈴木 雄貴	0	0	3	0	1	0	0	4	0	0	0	1	1	0	0	6.5
10	松田 竜也	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.5
11	細川 悠太	16	2	4	5	11	0	0	3	1	3	4	6	2	0	8	40.0
12	高橋 翔	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	今野 文弥	9	1	4	3	7	0	0	1	3	2	5	1	0	0	3	26.0
14	宮田 勝仁	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	小谷 耕也	9	0	0	4	6	1	1	4	3	15	18	3	2	3	0	40.0
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	0	0	0					0
合計		65	4	21	22	49	9	11	16	12	25	37	20	10	4	20	200
RATE		19.0%			44.9%			81.8%									



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	19:39	37:09				
TeamB	4:28	12:52	26:20	30:35	34:31	

タイムアウトは経過時間で表示しています

**戦評**  
 高さで勝る光泉とスピードで勝る黒沢尻工の試合。第1P光泉のハーフコートマンツーマンに対して、黒沢尻工は2-2-1ゾーンプレスからの2-3ゾーンでスタート。序盤から黒沢尻工は高さで勝る光泉のディフェンスに対して全く攻めることができない。一方、ディフェンスリバウンドを確実にものにす光泉が速攻を連続し14対0になり、黒沢尻工がたまたまタイムアウトをとる。タイムアウト終了後、ディフェンスリバウンドを頑張った黒沢尻工は#11細川を起点にし、速攻が決まりました。徐々に点差が縮まりましたが第1P終了間際、光泉の落ち着いた攻めにより、またリードを広げられ、22対10で第1P終了。第2Pに入ってから、黒沢尻工は第1Pと同様に全く攻めることができない。その間、光泉は#12横江の速攻、#8宇部のポストプレーなどでどんどん得点を重ねていき50対20で前半終了。  
 第3Pに入ってから光泉は#8宇部の安定したポストプレーなどでどんどん得点を重ねていき攻撃の手を緩めない。一方黒沢尻工も#11細川の個人技などで食らいつくが点差を縮めることができないまま76対34で第3P終了。第4P最後の追い上げをはかる黒沢尻工が激しいディフェンスから光泉のミスを誘い速攻を連続するが最終にスタートメンバーに戻した光泉が安定したプレーで黒沢尻工の流れを止め、101-65で光泉の勝利となった。

主審	久保裕紀	副審	大川修平	戦評	藤本信吾
----	------	----	------	----	------